

THE SSJ CHRONICLE

－ スケジューリング学会ニュースレター －

(<http://www.sche-socie.jp/>)

2006 年 9 月

Vol. 8 No. 22

暫定プログラム掲載 スケジューリング・シンポジウム 2006 －スケジューリングと人材育成－

【主催】 スケジューリング学会

【協賛】 経営情報学会，システム制御情報学会，人工知能学会，日本機械学会，日本オペレーションズ・リサーチ学会，日本経営工学会，PSLXコンソーシアム，計測自動制御学会（予定）

【後援】 石川県商工労働部，（財）石川県産業創出支援機構

【開催日】 2006 年 10 月 21 日（土）～ 10 月 22 日（日）

【会場】 金沢工業大学野々市キャンパス
（石川県石川郡野々市町扇が丘 7-1）

【主旨】

現在，我が国では 2007 年問題と言われる産業発展を底支えしてきた各分野の熟練労働者が大量に現場を離れることに伴う諸問題が議論されています。スケジューリングの実践の場や支援ツール・システムの開発の場でも同様の問題が起きています。この

ような社会的背景から，当学会でのスケジューリング人材の育成およびスケジューリングノウハウ伝承に関わる情報交換や意見交換および社会への情報発信はスケジューリング学会の社会的使命の 1 つであるとともに今後の学会発展に資するところが大きいものと考えられます。

本シンポジウムはスケジューリング学会の年次学術講演会として 1999 年の京都産業大学を第 1 回として，浜名湖カリアック，北海道大学，大阪大学，電気通信大学，静岡大学，神戸大学で開催され，第 8 回目となる 2006 年は北陸の地，金沢工業大学での開催を予定しています。

今回は「スケジューリングと人材育成」をテーマに，従来のスケジューリング理論，技術の新たな発見や発展の内容に関わる議論に加え，スケジューリング人材の育成に関わる教育法，教材および機器開発などに関する討議によってスケジューリングに関する理論家と実務家の皆様が新たなスケジューリング分野の課題発見と解決可能性に関する成果を得られることを期待します。

実行委員会委員長：

石井 和克（金沢工業大学）

プログラム委員会委員長：

中野 真（金沢工業大学）

目 次

スケジューリング・シンポジウム 2006（SS 2006）

－スケジューリングと人材育成－ 1 頁

SS 2006 会場へのアクセス 2 頁

SS 2006 会場案内・発表スケジュール（暫定版）3 頁

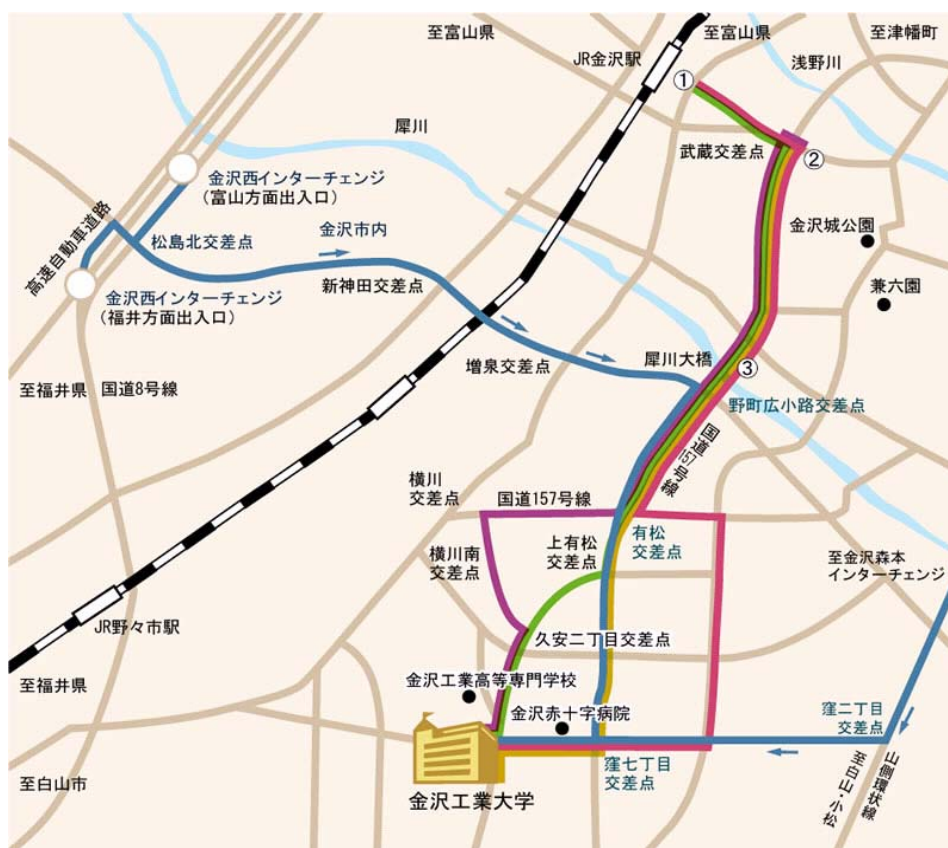
スケジューリング国際シンポジウム 2006 顛末記 5 頁

2006 年度第一回理事会議事録 6 頁

横幹連合ニュースレター発行のお知らせ 8 頁

[会場へのアクセス]

金沢工業大学 野々市キャンパス（扇ヶ丘キャンパス）へのアクセス
 （情報は<http://www.kitnet.jp/access/>からも閲覧できます）



【タクシーをご利用の場合】

JR 金沢駅前からの所要時間は、通常 20 分程度です。

【バスご利用の場合】

- ・ JR 金沢駅からの所要時間は、通常 30 分程度です。

路線	経 由
32	金沢駅東口(8 番乗り場)発 工大前 行き (円光寺経由)
32	金沢駅東口(8 番乗り場)発 工大前 行き (有松、寺地経由)
32	金沢駅東口(8 番乗り場)発 工大前 行き (寺地経由)
32	金沢駅東口(8 番乗り場)発 工大前 行き (久安大橋経由)

*路線 32 のバスは「円光寺」止まり、「錦が丘」止まりもありますので、「工大前」行きに間違えずお乗りください。

- ・ 小松空港ご利用の場合

工大前行きの直通バスがあります。

時刻等の詳細は北陸鉄道ホームページ“小松空港接続バス”にてご確認ください。

金沢工業大学 〒921-8501 石川県石川郡野々市町扇が丘 7-1
 TEL 076-248-1100 FAX 076-248-7318

[会場案内]

【平成18年10月21日(土)】

時間\会場	5-106	5-107	5-108	5-109	5-110	1-110	食堂セレス
13:00～13:50		サプライチェーンマネジメント	確率的スケジューリング	スケジューリング問題の分割化アプローチ	休憩室	実行委員控室	
14:00～14:50	特別講演						
15:00～15:50	特別事例発表						
16:30～18:00							

【平成18年10月22日(日)】

時間\会場	5-106	5-107	5-108	5-109	5-110	1-110	5-101
10:00～10:50	スケジューリング ソフトウェア	物流問題の最 適化	人的スケジュー リング	納期管理	休憩室	実行委員 控室	
11:00～11:50	部品標準化と スケジューリン グ	最適化	シミュレーショ ン	スケジューリン グと人材育成			
12:00～12:50						拡大評議会	
13:00～13:50						実行委員 控室	総会

[発表スケジュール(暫定版)]

【平成18年10月21日(土)】

	B 会場(5-107 講義室)	C 会場(5-108 講義室)	D 会場(5-109 講義室)
13:00 ～ 13:50	【サプライチェーンマネジメント】 [司会] 増山繁(豊橋技術科学大学) <B01> ネットワーク型サプライチェーンの解析法の提案 *水野信也、八巻直一(静岡大学)、高井英造(フレームワークス) <B02> 域外需要も考慮した自動車部品相互補完システムの輸送スケジュールに関する一考察 *平木秀作(広島修道大学)、市村隆哉(日本大学)、石井和克(金沢工業大学)	【確率的スケジューリング】 [司会] 諏訪晴彦(摂南大学) <C01> 累積遅延に基づくwhen-to-schedule 方策－納期を考慮した遅延の計測－ *藤原稔久(摂南大学大学院)、諏訪晴彦(摂南大学) <C02> リソース関数に固定費を含む確率計画問題の生産計画への応用 *多ヶ谷有(早稲田大学)、椎名孝之((財)電力中央研究所)、西岡歩美、森戸 晋(早稲田大学)	【スケジューリング問題の分割化アプローチ】 [司会] 由良憲二(電気通信大学) <D01> 配送計画問題に対する問題分解と分散型メタヒューリスティクスの構成 *榎原一紀(立命館大学)、野一色学(立命館大学大学院)、玉置久(神戸大学)、西川郁子(立命館大学) <D02> 長期生産計画と短期スケジューリングの同時最適化に対するハイブリッド解法 *大西真人(株式会社通総研)、久保幹雄(東京海洋大学)、JoaoPedro PEDROSO(ポルト大学)
14:00 ～ 14:50	【特別講演】 A 会場(5-106 講義室) [司会] 中野一夫(株式会社構造計画研究所) <A01> ERP/SCM 時代における生産スケジューリングのあり方と大学での教育的試み 松井正之(電気通信大学)		

15:00 ～ 15:50	【特別事例発表：】 A会場(5-106 講義室) [司会] 黒田充(青山学院大学) <A02> 企業における生産スケジューリング基礎教育事例 -SCM教育の一環として- 的場秀彰(株式会社日立製作所)
16:30 ～ 18:00	【懇親会】 食堂セレス

【平成18年10月22日(日)】

	A会場(5-106 講義室)	B会場(5-107 講義室)	C会場(5-108 講義室)	D会場(5-109 講義室)
10:00 ～ 10:50	【スケジューリングソフトウェア】 [司会] 徳山博子(静岡大) <A03> プロセス生産における APS の適用 *齋藤彰一、岩崎真茂、野本真輔(株式会社構造計画研究所) <A04> 薄板熱延工程のためのスケジューリング手法 *濱利行、吉住貴幸(日本アイ・ビー・エム)	【物流問題の最適化】 [司会] 久保幹雄(東京海洋大学) <B03> GA を用いた自由形状物を含む3次元積み付け問題の解法 *中村知文、八巻直一(静岡大学)、高井英造(和光大学) <B04> 生産スケジューリングと搬送経路計画の同時最適化 *西竜志(大阪大学)、濱名良平(岡山大学)、平中雄一朗(大阪大学)	【人的スケジューリング】 [司会] 成田浩久(名古屋工業大学) <C03> 鉄道における乗務員スケジューリング問題に対する数理計画法の適用 *今泉淳(東洋大学)、福村直登(財)鉄道総合技術研究所、森戸晋(早稲田大学) <C04> 局所探索法と整数計画法のハイブリッドアルゴリズムによるナーススケジューリング問題のヒューリスティック解法 *長谷川精也(セコム㈱・東京工業大学大学院)、小杉幸夫(東京工業大学大学院)	【納期管理】 [司会] 八巻直一(静岡大学) <D03> 作業時間の変動、資材遅れなどの製造現場における不確実性が納期見積りシステムの頑健性に及ぼす影響について *黒田充(青山学院大学) <D04> 処理時間の不確実な状況下におけるクリティカルパスを用いたロバストスケジュールの列挙法 *村上啓介、森田浩(大阪大学)
11:00 ～ 11:50	【部品標準化とスケジューリング】 [司会] 平木秀作(広島修道大学) <A05> メンテナンスを行う循環型生産システムの生産性に関する検討 *田中芳親、成田浩久、陳連怡、藤本英雄(名古屋工業大学) <A06> 部品標準化とデカップリングポイントに関する意思決定問題 *由良憲二(電気通信大学)、千野今日子(電気通信大学大学院)、梅谷俊治(電気通信大学)	【最適化】 [司会] 森戸晋(早稲田大学) <B05> 時間ペトリネットの分解と調整によるスケジューリング問題の解法 *前野良太(岡山大学)、西竜志(大阪大学)、小西正躬(岡山大学) <B06> 1機械スケジューリング問題に対する SSDP 法の改善 *田中俊二(京都大学)	【シミュレーション】 [司会] 西竜志(大阪大学) <C05> 三次元設備シミュレーションを利用する設備制御プログラムの事前評価手法の研究 *日比野浩典(財)機械振興協会技術研究所、犬飼利宏(デンソーウェーブ)	【スケジューリングと人材育成】 [司会] 石井和克(金沢工業大学) <D05> 産学連携による製造中核人材育成プログラムの開発 *皆川健多郎(大阪工業大学) <D06> スケジューリング用 IT 治具の教育版開発 *浅見登(NETS)、中野真、石井和克(金沢工業大学)、木村春彦(金沢大学)
12:00 ～ 12:50	【拡大評議会】 1-110			
13:00 ～ 13:50	【総会】 5-101			

今後の最新情報はスケジューリング学会ホームページ

<http://www.sche-socie.jp/>

に掲載されます。

スケジューリング国際シンポジウム2006 顛末記

実行委員長 由良憲二(電気通信大学)

2006年7月18日(火)～20日(木)にスケジューリング国際シンポジウム(以下ISSと記します)2006が、スケジューリング学会と日本機械学会生産システム部門の共催という形で、アルカディア市ヶ谷私学会館(東京都千代田区)にて開催されました。発表件数はキーノートスピーチ3件、研究発表37件の合計40件にのぼり、また期間中は連日の雨の中にもかかわらず、70人の方にご参加いただき、先端的研究のご発表と活発なご討論が展開され、成功裏に終了いたしました。



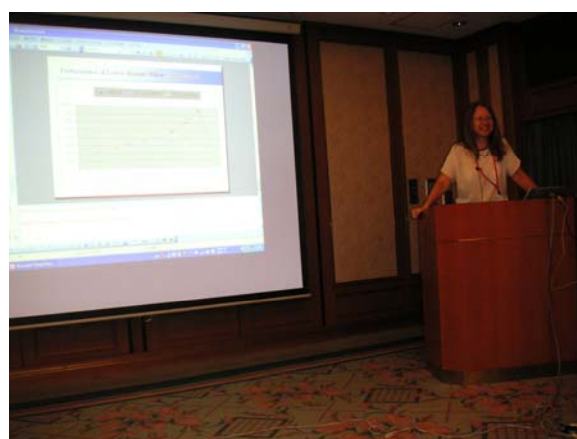
発表会場風景

ISS2006は、組織委員会(藤本英雄委員長)で方針を決め、国際プログラム委員会(茨木俊秀委員長)で計画を策定し、そして実行委員会が実施するという役割分担で開催いたしました。キーノートスピーチは、世界的に著名な先生であるErwin Pesch教授、Kathryn E. Stecke教授、そしてPeter Brucker教授にご講演いただきました。各先生方のご講演題目は、Pesch教授が「Gate Scheduling at Airport」、Stecke教授が「Production Scheduling to Decrease Transportation Costs」、そしてBrucker教授が「Cyclic Machine Scheduling: A General Framework」で、ご参加の方々にも有益なお時間をお過ごしいただけたことと推察しております。

研究発表の方も、それぞれのご発表者が理論的あるいは実用的に興味深い対象を取り上げられ、研究成果を丁寧にご説明いただき、スケジューリング関係分野の先端的状态を参加者が共有することができたものと考えております。研究発表の



Pesch 教授ご講演



Stecke 教授ご講演



Brucker 教授ご講演

中から理論部門と応用部門の優秀論文が選定され、7月19日のバンケットにて、表彰されました。各部門の優秀論文は以下の通り(敬称略)でございます。

【理論部門】S. Tanaka, S. Fujikuma, and M. Araki

「A Branch-and-Bound Algorithm Based on Lagrangian Relaxation for Single-Machine Scheduling」

【応用部門】 M. Cheng, M. Sugi, J. Ota, M. Yamamoto, H. Ito, and K. Inoue

「Online Rescheduling in Semiconductor Manufacturing」

I S S 2 0 0 6 の開催は、組織委員会並びに国際プログラム委員会の両委員長と各委員の方々のご尽力の賜物と存じています。また、実行委員会の委員の方々にも、シンポジウムの準備、実施、後処理までとてもお世話になりましたことをご報告いたします。

最後になりましたが、ご講演者並びにご参加の皆様、誠に有難うございました。皆様のお陰で無事にシンポジウムを開催することができました。厚く御礼申し上げます。次回は2年後にI S S 2 0 0 8 が開催される予定と伺っています。読者の皆様が多数ご参加なされ、盛会でありますことを祈念し、I S S 2 0 0 6 の始末記を締めくくらせていただきます。

スケジュールリング学会 2006 年度 第一回理事会議事録

2006 年 7 月 21 日

以下の議題について、理事一名の棄権を除く全理事会メンバーにより、全て承認された。

1. 役員改選

第5期理事・監事の改選について

会則12条、13条、15条および細則に従い、第5期スケジュールリング学会理事および監事の改選を行う必要があります。

今回は以下の要領でこれを進めたく、ご了承を頂きたいと存じます。

期日に余裕がないため、7月7日までにご回答を頂くようお願い致します。

なお、理事会承認を頂くとすぐさま、全会員に通知致します。

第5期理事および監事改選の要領（案）

（1）電子投票によって行う。

すなわち、メールで「第5期理事・監事改選投票用書式」を送り、

返信メールを事務局アドレス（<mot@sys.eng.shizuoka.ac.jp>）宛に送ってもらう。

（2）投票締め切り期日を、8月31日（木）とする。

（1）、（2）のご承認はいかかでしょうか？

（3）理事・監事それぞれの新任候補者の理事会推薦者を以下の方々（7名）とする。

石井和克（理事）（金沢工業大学）
野本真輔（理事）（構造計画研究所）
玉置 久（理事）（神戸大学）
柳浦睦憲（理事）（名古屋大学）
宮崎知明（理事）（(株) 富士総研）
曹 徳弼（理事）（慶応義塾大学）
伊呂原隆（監事）（上智大学）
ご承認はいかかでしょうか？

（4）投票用書式への記入要領は、

上記候補者を賛成しない場合は当該候補者欄に×印を入れ、他の方を選出する場合は、その氏名と所属とを（ ）欄に記入する。

（5）理事選出は、多数決方式で行い、最大10名を選出する。

（4）、（5）のご承認はいかかでしょうか？

（6）評議員は理事会において推薦され、会長によって委嘱されると会則にあります。以下の方々（26名）を推薦したい。推薦しない場合は（ ）欄に×を入れて下さい。

（1）阿瀬 始（JFE エンジニアリング）
（ ）

（2）宮崎 茂次（岡山大学）
（ ）

（3）茨木 俊秀（関西学院大学）
（ ）

（4）石井 博昭（大阪大学大学院）
（ ）

（5）上野 信行（広島県立大学）
（ ）

（6）大野 勝久（愛知工業大学）
（ ）

（7）加藤 直樹（京都大学大学院）
（ ）

（8）稲垣道雄（㈱ロピックス）
（ ）

（9）小西 正躬（岡山大学）
（ ）

（10）玉置 久（神戸大学）
（ ）

（11）田村 隆善（名古屋工業大学）
（ ）

（12）寺野 隆雄（東京工業大学大学院）
（ ）

（13）中川 義之（キャノンシステムソリューションズ㈱）
（ ）

（14）藤井 進（神戸大学）
（ ）

- (15) 西岡 靖之 (法政大学) ()
 (16) 野口 博司 (流通科学大学) ()
 (17) 長谷部 伸治 (京都大学) ()
 (18) 冬木 正彦 (関西大学) ()
 (19) 関口 泰毅 (北海道大学) ()
 (20) 渡邊 一衛 (成蹊大学) ()
 (21) 藤本 英雄 (名古屋工業大学) ()
 (22) 福田 好朗 (法政大学) ()
 (23) 増山 繁 (豊橋技術科学大学) ()
 (24) 光國 光七郎 (㈱日立製作所) ()
 (25) 森田 浩 (大阪大学大学院) ()
 (26) 森戸 晋 (早稲田大学) ()

上記と別に推薦者がある場合は下記にお書き下さい。

氏 名 / 所 属
 (/)
 (/)
 (/)

 全会員への通知用には以下の文章では如何でしょうか？

スケジューリング学会会員各位

第5期理事・監事の改選について

会則12条、13条、15条および細則に従い、第5期スケジューリング学会理事および監事の改選（半数改選）を、下記のとおり行います。

なお、理事会の承認を得て、今回からはメールでの電子投票で選出を行います。

記

本メールにある「第5期理事・監事改選投票用書式」に必要な事項を記入のうえ、事務局アドレス (<mot@sys.eng.shizuoka.ac.jp>) 宛に返信メールを送って下さい。
 投票締め切り期日は、8月31日（木）と致

します。

なお、理事・監事の選出は多数決方式で行い、最大10名を選出します。

 「第5期理事・監事改選投票用書式」

(1) 理事・監事（新任）候補者の理事会推薦者を以下の方々とします。

賛成されない候補者には、() 欄に×印を入れて下さい。賛成の場合は空白のままにして下さい。

【理事・監事候補者】

石井和克 (理事) (金沢工業大学)

()

野本真輔 (理事) (構造計画研究所)

()

玉置 久 (理事) (神戸大学)

()

柳浦睦憲 (理事) (名古屋大学)

()

宮崎知明 (理事) ((株) 富士総研)

()

曹 徳弼 (理事) (慶応義塾大学)

()

伊呂原隆 (監事) (上智大学)

()

(2) 他の方を選出する場合は、その氏名と所属とを次の () 欄に記入する。

氏 名 / 所 属

(/)
 (/)
 (/)

2. 新規入会 2名

松目敏幸	所属：富士通（株） 電子デバイス事業本部 事業推進部 CIM 部 推薦者（八巻直一）
山田 拓行 （やまだ ひろゆ き）	所属：有限会社もっこす コンサルティング 代表取締役 推薦者（八巻直一）

ご承認はいかかでしょうか？

3. 名誉会員

木瀬 洋 元京都工芸繊維大学を推薦したい。ご承認はいかかでしょうか？

4. 学会賞

玉置 久 神戸大学を表彰委員長にしたい。
ご承認はいかかでしょうか?

5. 会長・副会長推薦

会長 中野一夫 構造計画研究所
副会長 由良憲二 電気通信大学
副会長 八巻直一 静岡大学
上記3名を推薦したい。
ご承認はいかかでしょうか?

6. 年会費請求について

- (1) 6月中に、全会員にメールにて、2007年度年会費請求を送信する。
メールが不通の会員には郵送する。
請求の際には、過去の入金状況をのせ、未納の分も合わせて入金することを促す。
- (2) その後、7月中旬までに、入金がされない場合は、入金確認のメールを送信する。
8月31日までに入金が確認できない会員には督促請求をする。
- (1)、(2)のご承認はいかかでしょうか?

以上

■□■

横幹連合ニュースレター 2006年6月号(No.6)

■□■

<http://www.trafst.jp/news.html>

編集：ニュースレター編集室

■横幹連合ニュースレターにかかわる問い合わせ先：横幹連合 事務局

email : office@trafst.jp

tel&fax : 03-3814-4130

特定非営利活動法人

横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）

Transdisciplinary Federation of Science and Technology

事務局 e-mail:office@trafst.jp

tel&fax 03-3814-4130

ホームページ : <http://www.trafst.jp/>

所在地 : 〒113-0033 東京都文京区本郷
1-35-28-303

(社)計測自動制御学会 事務局内

【横幹連合】 ニュースレター発行のお知らせ

学会事務局に以下のメール（抜粋，平成18年6月30日付）が届きましたので，会員の皆様にお知らせ申し上げます。

横幹連合 会員学会 各位

（送信宛先：各学会事務局御中）

横幹連合ニュースレター編集室

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、【横幹連合ニュースレター】2006年6月号（No.5）を、ホームページにて公開いたしましたので、お知らせします。

ぜひご一読くださいますよう、お願い申し上げます。

また、貴学会会員の皆様にも、貴学会の会誌、ホームページ等を通じてお知らせくださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

今月の編集担当者
軽野義行（京都工芸繊維大学）